

<b>令和2年度 指定管理者施設管理評価シート</b>			<b>部課名</b>	文化産業観光部文化振興課
<b>施設名称</b>	4	東京都台東区立下町風俗資料館	<b>指定管理者</b>	公益財団法人台東区芸術文化財団
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		<b>指定期間</b>	R2.4.1    ~    R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 台東区の特長である下町文化の保存、育成、調査研究等を行い、区民文化の振興を図る。
(2)	[所在地] 台東区上野公園2-1 [規模] 延床面積1,071.16㎡ RC造 地上3階地下1階 塔屋 収蔵庫、荷解作業室、燻蒸室、更衣室、機械室、展示室、エントランスホール、だれでもトイレ、休憩室、事務室、図書室、写真室、暗室、エレベータ機械室など
(3)	[委託事業] 下町の歴史、芸術、風俗、産業等に関する実物、標本、模型、文献などの資料の収集、保管及び展示。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の整理整頓、その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業。 [自主事業] 施設特別展・企画展、定期実演会(紙芝居、印章彫刻、染色工芸、木版画彫刻、型絵染、こども土曜塾など)、伝統工芸実演会、正月実演会(大黒舞、獅子舞、南京玉すだれ、江戸凧制作)、伝統工芸体験教室(木目込み人形作り)
(4)	[利用者] 全来館者 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 開館日：休館日(月曜日/12月29日~1月1日/特別整理期間等)を除く 開館時間：午前9時30分~午後4時30分(入館は午後4時まで)
(6)	[人員体制] 14名 (内 訳) 常勤固有職員(1) 派遣職員(1) 再任用(1) 研究員(1) 再雇用区政嘱託員(2) 専門員(2) 特例嘱託員(6) (前年増減) なし

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料(指定管理料)	18,798,000	17,116,818	18,702,000	18,032,147
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入( )	0	0	0	0
	計	18,798,000	17,116,818	18,702,000	18,032,147
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	4,985,000	5,302,671	5,208,000	5,207,560
	維持管理費(委託料・賃借料)	9,785,000	9,208,133	9,418,000	9,289,294
	修繕費	800,000	106,920	874,000	873,730
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(印刷製本費等)	3,228,000	2,499,094	3,202,000	2,661,563
	計	18,798,000	17,116,818	18,702,000	18,032,147
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
開館日数	日	301	304	304	276

4. 成果指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
入館者数	人	19,840	77,639	75,128	66,781

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
—

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書・報告書等の作成・提出をはじめ必要な手続きを適切に行うとともに、必要な事項について区と協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書に則り、観光連盟等の関係団体と連絡をとりながら、自主事業を適切に実施した。また、区と連携を図り、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自主事業の中止や施設の臨時休館の対応をした。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	備品及び物品の管理は適切に行われており、また施設の修繕については、危険箇所を区に迅速に連絡し事故の発生を未然に防ぐなど、適正な対応を行った。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	アンケート結果を活用し、好評であった伝統工芸実演の実施回数を増やしたり、また木目込み人形の製作体験教室を新たに開催するなど、事業の充実を図った。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	外国語版の施設パンフレットを2か国語併記にし、効率的な印刷物作成を行った。新型コロナウイルス感染拡大の影響もあるが、図録等の図書販売の自主事業収入は、収入予算目標を下回った。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 ( 98 / 110点)	<p>【所見】 新規事業の実施や利用者の声を活かした事業の充実を図った。施設の修繕に関しては、危険箇所を迅速に区に連絡し、事故の発生を未然に防いだ。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 図録やグッズ等、販売図書の自主事業収入は収入予算目標達成に至らなかった。</p>